

自治体の課題、現状

○本市においては、中学校・義務教育学校が4校あり、生徒数1,180人で37部活が活動している。その中でも運動部の団体競技では、部員不足により単独校でチームが編成できず、合同チーム又は拠点校により、大会に出場している種目も出てきている。また、中学校等の生徒数は減少傾向にあり、令和14年度以降は200人超の大幅な減少が見込まれている。

○それらを踏まえ、既存の学校部活動の見直しを始め、地域の実態や生徒のニーズに合わせた、多様なスポーツ環境を構築していく必要がある。

地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	4校	全生徒数	1,180人
域内の部活動数	37部	実施した地域クラブ数	4クラブ
全体の指導者数	14人	全体の運営スタッフ数	1人
主な運営団体	総合型地域スポーツクラブ		
主な種目	男子卓球、女子ソフトテニス、剣道、陸上競技		
平均的な活動回数	3回/月	年間平均参加生徒実数	3年：7人/クラブ 2年：8人/クラブ 1年：6人/クラブ
参加会費	0円/年	主な活動場所	・玉里海洋センター ・小川北義務教育学校 ・小川南中学校 ・美野里中学校

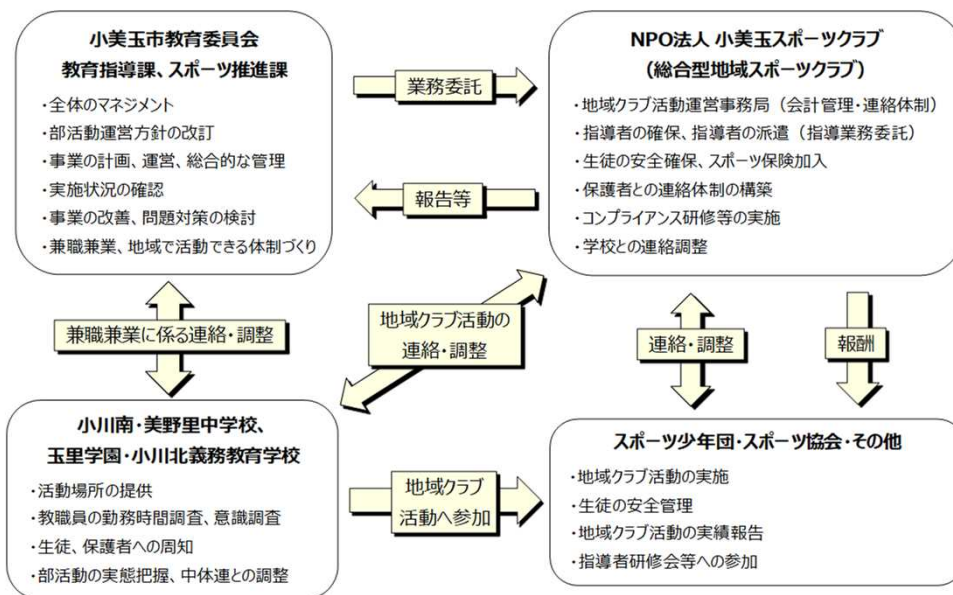
地域移行関連の取組、成果

○令和5年度は3年生の部活動引退後の12月から地域クラブ活動を実施したが、令和6年度は4月から地域クラブ活動を実施したことで1～3年生を対象に、休日の部活動の地域移行に取り組むことができた。

○小学校及び中学校・義務教育学校の児童・生徒に「休日の学校部活動の現状と今後についてお知らせするチラシ」を配布し、保護者や地域クラブ活動に関わっていない方々にも、認知・周知を広げることができた。

○休日の地域クラブ活動を実施している剣道は、令和7年度から拠点校部活動に移行し県中学校体育大会へ出場することが可能となったことで、他の学校からも生徒が参加できるかたちを整えた。

運営体制図



令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

茨城県小美玉市

自治体名： 茨城県小美玉市
担当課名： 教育委員会スポーツ推進課
電話番号： 0299-48-1111

本報告書は、スポーツ庁の「令和6年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（運動部活動の地域移行等に向けた実証事業）」の一貫として、茨城県が実施した「令和6年度運動部活動の地域移行に向けた実証事業」の成果をとりとめたものです。

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	総面積144.7 km ²
人口	48,523 人
公立中学校数	4 校
公立中学校生徒数	1,180 人
部活動数	37 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	未策定

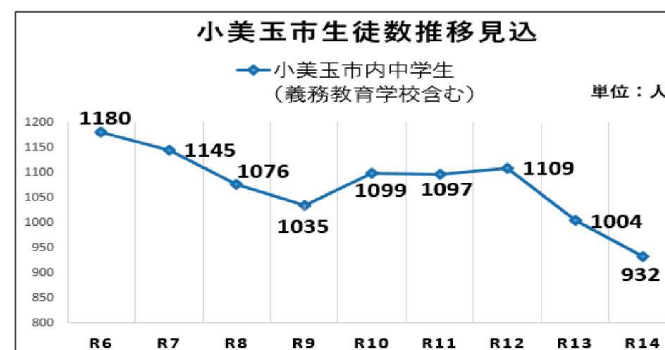
地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

本市には、中学校が2校、義務教育学校が2校あり、令和6年5月現在、全4校において運動部が28部（10種目）、文化部が9部（3種目）、合わせて37部が活動している。部活動加入率は80.8%だが、運動部の団体競技では、部員不足のため単独校でチームを編成することができず、合同チーム又は拠点校により、県中学校体育大会（総体・新人）に出場している種目も出てきている状況でもある。

また、中学校等の生徒数は減少傾向にあり、令和6年度の1,180人に対し、令和9年度の想定では100人超の減、令和14年度以降は

200人超の大幅な減少が見込まれている。

それらを踏まえ、既存の単一校単一チームの学校部活動の見直しを始め、地域の実態や生徒のニーズに合わせた多様なスポーツ環境の構築を目指すために、まずは休日の運動部活動の地域移行へ向けて、運営団体の体制整備を始め、指導者の確保、地域クラブ活動を運営する上で必要な費用負担等の課題解決を行い、地域クラブ活動の持続可能な体制を検討していく必要がある。



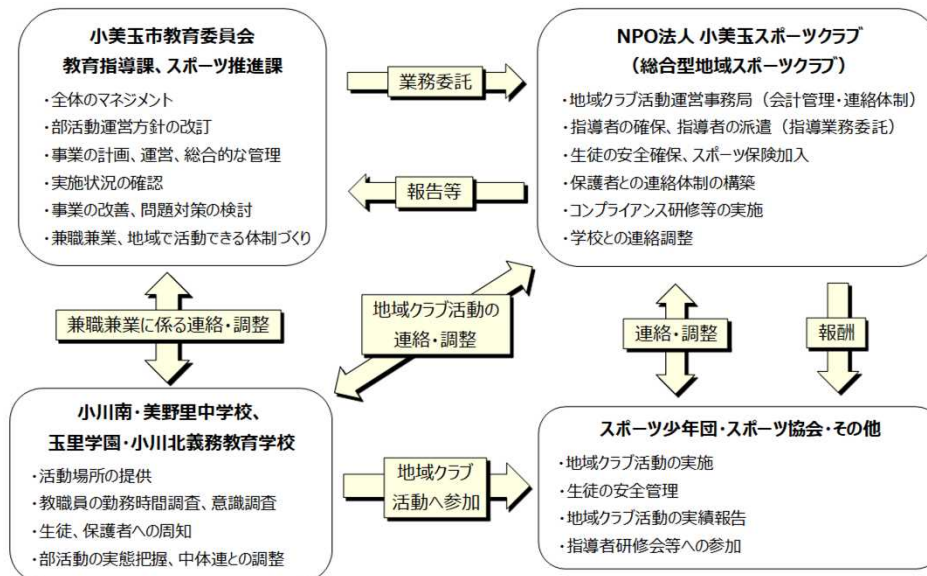
（令和6年5月1日現在 小1～中3までの在籍人数及び住民基本台帳から試算）

出典：小美玉市教育委員会教育指導課

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・教育指導課…部活動運営方針の改訂、兼職兼業の整備、地域で活動できる体制づくり
- ・スポーツ推進課…全体のマネジメント、事業の計画・運営、総合的な管理、事業の改善、問題対策の検討等

◎首長部局

- ・財政課…予算措置

年間の事業スケジュール

- | | |
|---------|---|
| 令和6年4月 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域クラブ活動の実施 ・指導者コンプライアンス研修会の開催 ・第1回検討委員会の開催 |
| 令和6年8月 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域クラブ活動実施状況に関するアンケートを実施（対象：生徒、指導者） ・第2回検討委員会の開催 |
| 令和6年9月 | <ul style="list-style-type: none"> ・中学部活動に関する事前アンケートを実施（対象：小学6年生） ・中学校校長と検討会議の開催 |
| 令和6年10月 | <ul style="list-style-type: none"> ・第3回検討委員会の開催 |
| 令和6年11月 | <ul style="list-style-type: none"> ・第1回地域クラブの拠点校に向けて意見交換会の開催 ・拠点校部活動の外部指導者との意見交換会の開催 |
| 令和6年12月 | <ul style="list-style-type: none"> ・第2回地域クラブの拠点校に向けて意見交換会の開催 ・第4回検討委員会の開催 |
| 令和7年1月 | <ul style="list-style-type: none"> ・第3回地域クラブの拠点校に向けて意見交換会の開催 ・第5回検討委員会の開催 |
| 令和7年2月 | <ul style="list-style-type: none"> ・指導者研修会（ASE講習）の開催 |

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	4 校	実施した地域クラブ総数	4 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		4 クラブ（4 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0 クラブ
全体の指導者数	14 人	全体の運営スタッフ数	1 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
男子卓球クラブ	総合型地域スポーツクラブ	卓球	月1～4回／週1回	9:00～12:00	1年：3人 2年：7人 3年：5人	4月～2月	玉里海洋センター	2 人	1 人 （内、兼務 1 人）	月会費 0 円 ／ 年会費 0 円	中体連：部活動 その他：部活動
女子ソフトテニスクラブ	総合型地域スポーツクラブ	ソフトテニス	月1～4回／週1回	8:30～11:30	1年：5人 2年：5人 3年：6人	4月～2月	小川北義務教育学校	2 人	1 人 （内、兼務 1 人）	月会費 0 円 ／ 年会費 0 円	中体連：部活動 その他：部活動
剣道クラブ	総合型地域スポーツクラブ	剣道	月2～4回／週1回	9:00～12:00	1年：0人 2年：3人 3年：1人	4月～2月	旧小川小学校／小川南中学校	6 人	1 人 （内、兼務 1 人）	月会費 0 円 ／ 年会費 0 円	中体連：部活動 その他：部活動
陸上クラブ	総合型地域スポーツクラブ	陸上競技	月1～4回／週1回	8:30～11:30	1年：15人 2年：18人 3年：14人	4月～2月	美野里中学校 外	4 人	1 人 （内、兼務 1 人）	月会費 0 円 ／ 年会費 0 円	中体連：部活動 その他：部活動

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 新入生と上級生の交流をより円滑かつ効果的に進めていくための指導者研修会（ASE講習）を開催

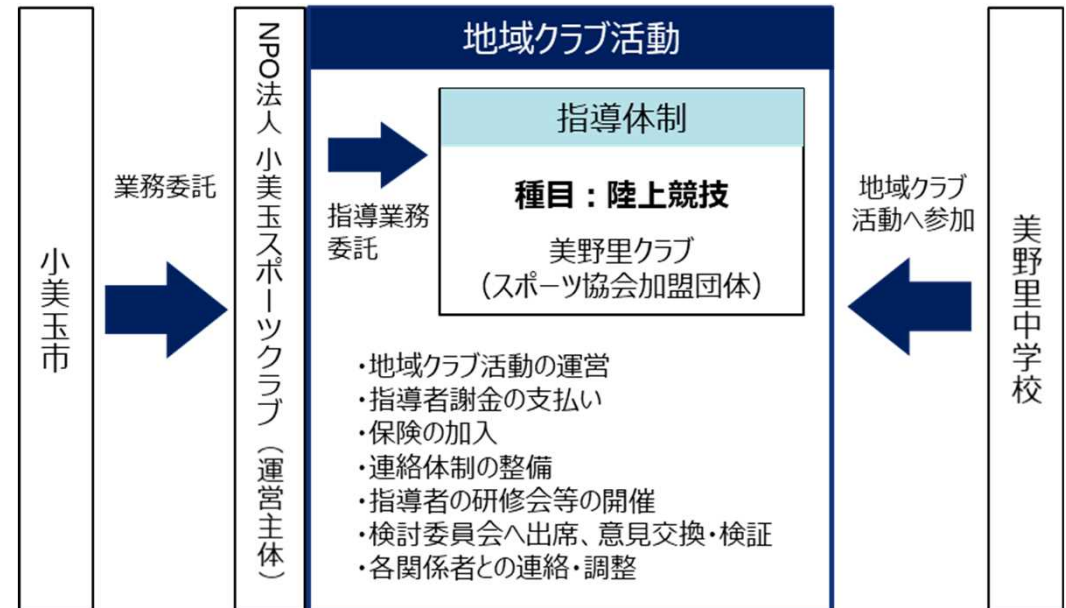
2.実証内容と成果

主な取組例

●陸上クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	陸上競技
運営団体名	NPO法人 小美玉スポーツクラブ
期間と日数	4月21日～2月23日 月1～4回程度
指導者の主な属性	美野里クラブ所属の指導者
活動場所	美野里中学校、石岡運動公園 外
主な移動手段	徒歩、自転車、保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	0円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者（NPO法人 小美玉スポーツクラブ）

役割：活動における管理者として、日程調整、保護者との連絡等を行う

●主任指導者 4名（美野里クラブ）

役割：活動における主任者として、生徒への指導を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

○総合型地域スポーツクラブのNPO法人 小美玉スポーツクラブへ事務局機能を委託し、会計管理、連絡体制の構築、人材派遣、指導者研修会、生徒の安全確保、保護者や学校との連絡調整等の取組を実施する。

取組の成果

○統括コーディネーターを配置したことにより、参加者や保護者、学校、指導者との連絡調整等を円滑に行う運営体制づくりを構築することができた。

○地域クラブ活動の参加者の管理、保護者や指導者への連絡体制は新たに構築せず、NPO法人 小美玉スポーツクラブが使用しているICT（Sgrum）の活用により、保護者等との連絡を円滑に行うことができた。また、地域クラブ活動中のケガによる保険適用申請についても、Sgrumを介し適切かつスピーディーに対応することができた。

コーディネーターの具体的な動きの実績

【統括コーディネーター】

- ・学校、参加者、指導者への連絡調整を実施
- ・スポーツ安全保険の加入手続きを実施
- ・指導者の勤務状況管理、謝金の支払い、研修会を実施

今後の課題と対応方針

- 現在、統括コーディネーターを1名配置し、地域クラブ活動を実施しているが、今後の地域クラブ活動数の増加を考えると、コーディネート業務を担う人材の発掘・育成、担当職員の増員、指導者の確保等、地域クラブ活動の運営体制の整備・強化は必要となってくる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

- ・指導者1名の地域クラブ活動は、複数人による指導体制を構築するため、指導者の確保に努める。
- ・新たな指導者に対して、コンプライアンス研修会を開催する。
- ・指導者に対して、資質向上のための研修会を開催する。

人材バンクの人数

人材バンクの年齢構成

登録者属性

種目

資格有無

取組の成果

- ・指導者14名を確保し、すべての地域クラブ活動で指導者2人以上の指導体制を構築することができた。
- ・陸上競技では、1回の地域クラブ活動に最大4人の指導者が当たり、指導体制の充実を図ることができた。
- ・指導者コンプライアンス研修会を実施し、新たな指導者2人の参加があった。
- ・指導者研修会（ASE講習）を実施し、7人の参加があった。



【指導者研修会】

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

【指導者コンプライアンス研修会】

- ・対象：新たな地域クラブ活動指導者
- ・目的：指導者として中学生と接していく上で、重要となる事柄について共有を図る。

【指導者研修会（ASE講習）】

- ・対象：地域クラブ活動指導者

目的：コーチングとティーチングの適切な使い分けを共有し、新年度から地域クラブ活動に加入する中学1年生及び義務教育7年生と上級生が円滑にチームワークを発揮していくための助けとなる時間やメニューの作り方を学ぶ。

指導者研修の参加実績

【コンプライアンス研修】・開催日：4月15日、4月24日

・開催回数：2回

・参加人数：2人

【指導者研修会（ASE講習）】・開催日：2月16日

・開催回数：1回

・参加人数：7人

受講者の声

指導者研修会（ASE講習）に参加した地域クラブ指導者の声

「コーチの声かけのタイミングなど、普段と違う視点をもらった。場面やタイミングによってうまく使い分けていけたら良い。」

「新入生との顔合わせに使えるようなメニューを教えていただいた。実際に使えるタイミングがあれば活用していきたい。」

今後の課題と対応方針

○複数人による指導体制は構築できたが、中長期的な視点から見ると指導者不足が解消されたわけではない。持続可能な運営ができる組織体制の整備を行う上では、指導者の確保が課題となる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

○スポーツ少年団、スポーツ協会等と連携し、人材バンクへの登録や指導者の派遣体制を構築する。

○教員の兼職兼業の制度設計を行い、地域で活動できる体制づくりを構築する。

取組の成果

○外部指導者やスポーツ協会等と連携し、新たな地域クラブ活動の指導者を確保することができた。

○中学校・義務教育学校校長と会議を実施し、教員の兼職兼業については、地域クラブ活動指導者は教員以外の指導者が中心となり、サポートするかたちで兼職兼業の承認を受けた先生方が指導に参加するなど、地域で活動できる体制づくりの構築に向けて検討を進めることができた。

バス等の運行実績

バス等の運航経費・収入

今後の課題と対応方針

○休日の部活動の地域移行を進める上で、専門的な指導ができる指導者の確保が大きな課題となる。

○スポーツ団体等との連携を始め、保護者等の地域の中から指導できる人材を発掘・確保する体制づくりを検討する必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

○令和6年度から拠点校部活動に移行した女子バレーボールの休日の部活動の地域移行に向けて、拠点校や指導者候補と体制づくりを検討する。

○地域クラブ活動を実施している剣道は、部員不足により個人戦のみで大会に出場していたが、指導者と意見交換を実施し、個人戦・団体戦共に出場できる体制づくりを検討した。

各自治体の役割

移動手段

事務局運営の方法

取組の成果

○女子バレーボールの地域移行は、指導者と活動予定が合わず、地域クラブ活動には展開できなかったが、指導者からは月4回ではなく月1回程度なら指導が可能と回答をいただいたことで、次年度以降、まずは月1回程度の地域クラブ活動が実施できる方向で調整することができた。

○地域クラブ活動を実施している剣道を、令和7年度から拠点校部活動に移行し、県中学校体育大会へ出場することが可能となったことで、他の学校からも生徒が参加できるかたちを整えることができた。

今後の課題と対応方針

○既存の学校部活動の見直しを進める中で、どのように地域移行へつなげていくか検討が必要となる。

○拠点校部活動により地域移行を進める上で、保護者の送迎等を含め参加者の移動手段が課題となる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

○「地域クラブ活動実施状況に関するアンケート調査」を実施し、地域クラブ活動に参加している生徒及び指導者ニーズの把握に努めた。

○「中学部活動に関する事前アンケート」を実施し、次年度、中学部活動の対象となる児童の地域移行及び部活動に対する意識の把握に努めた。

活動の詳細

参加人数	45 人	指導者数	5 人
属性	休日の地域クラブ活動に参加している生徒、指導者		
具体的な内容	地域クラブ活動の満足度や改善点、求めている内容、期待したいことなどを調査		
子供の声	- もう少し涼しくなるようにしてほしい（練習会場・時間） - 専門の練習を増やしてほしい - もう少しだけ練習時間を増やしてほしい - 指導者の方が来てくれてとても詳しく教えてくれて嬉しい。先輩がたくさんのことを教えてくれて嬉しい。		
関係者の声	- まだまだ始まったばかりでわからない事ばかりです。自分も勉強しながら子供たちと学んでいきたいと思います。 - 理想の活動回数：週 2 ～ 3 回 - 活動時間の長さ：準備入れて3.5時間ほどかかる。欠席の連絡が遅くなりがち。指導者をもう少し増やしたい。		
運営経費	0 円	令和6年度 地域クラブ活動実施状況に関するアンケート結果 対象：地域クラブ活動の参加者【R6.8月実施】 ①活動の満足度 45人の回答 ②どのような点に満足していますか？ ※複数回答可 33人の回答 出典：小美玉市教育委員会スポーツ推進課	

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

取組の成果

【地域クラブ活動実施状況に関するアンケート】

○参加した中学生56人を対象としたアンケートの結果、回答者の73%が「とても満足している、または満足している」と回答している。

○指導者14人を対象としたアンケートの結果でも、回答者の100%が「満足している、または概ね満足している」と回答している。

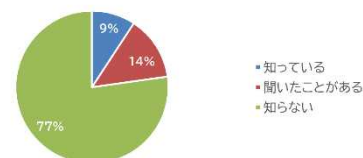
【中学部活動に関する事前アンケート】

○次年度、中学部活動の対象となる小学生364人を対象としたアンケートの結果、回答者の72%が「部活動の地域移行先には、勝敗などにこだわらず楽しく活動できる場所を求めている」と回答している。

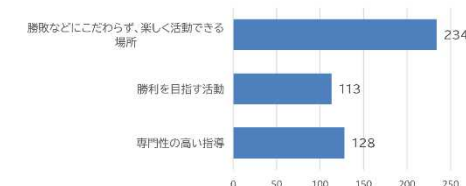
○回答者の78%は「部活動への入部を考えている」と回答した中、「入部を考えていない」と回答した小学生71人の内、49%が「やりたい種目や活動の部活動がない」と回答している。

令和6年度小学校6年生対象 中学部活動に関する事前アンケート【R6.9月実施】

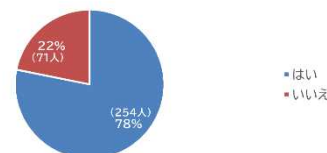
①現在スポーツ庁および文化庁が主導となって部活動を地域(民間)へ移行する動きが広がっているのを知っていますか？
325人の回答



②部活動が地域(民間)へと移行した場合、移行した先の活動や指導者には何を求めていますか？ ※複数回答可
325人の回答



③現在、中学校または義務教育学校後期課程で部活動への入部を考えていますか？
325人の回答



「現在、中学校または義務教育学校後期課程で部活動への入部を考えていますか？」で『いいえ』と答えた方

④部活動に入らない理由をお聞かせください ※複数回答可
71人の回答



出典:小美玉市教育委員会スポーツ推進課

今後の課題と対応方針

○地域クラブ活動に参加している中学生を対象としたアンケートの結果、回答者の31%が「練習などの活動内容に自分たち(生徒)の意見を取り入れたい」と回答があった一方、指導者は「生徒の意見を取り入れる」が0%の回答だった。地域クラブ活動に対する生徒の主体性向上を目指す上で、生徒のニーズや意見が反映される仕組みづくりの検討が必要となる。

○次年度、中学部活動の対象となる小学6年生を対象としたアンケートの結果、回答者の77%が「部活動が地域へ移行する動きを知らない」という回答があり、今後、中学部活動の対象となる小学生とその保護者、地域クラブ活動に関わっていない方々に対し、学校部活動の地域移行への動きをどのように認知・周知を広げていくか検討が必要となる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

○地域に移行する部活動と移行しない部活動で不公平感が生じないよう国費や市の自主財源を活用し、保険料も含め受益者負担は発生しない運営体制で取り組む。
○持続可能な体制づくりを構築するため、受益者負担等の収入と指導者謝金や事務局人件費等の費用による収支構造を検証し、将来的な枠組み等の検討を行う。

地域クラブに係る経費

■イニシャルコストの分析

・事務用品（5千円）

■ランニングコストの分析

・指導者謝金（967千円）
・事務局人件費（900千円）
・消耗品費（15千円）

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

小美玉市地域スポーツクラブ活動（収支構造試算書）（単位：千円）

収入	項目	単価	回数	人数	月	費用	合計
会費	会費（第1回）1年（第2回）5・6・7月	2,000	25	3	170,000	会費の年々増加に起因する 会費の増減	
	会費（第2回）2年（第3回）5・6・7月	2,000	55	4	440,000		
	会費（第3回）3年（第4回）5・6・7月	2,000	55	4	440,000		
入会費	入会費（第1回）1年（第2回）1・2・3月	2,000	55	4	440,000	入会費の年々増加に起因する 入会費の増減	
	入会費（第2回）2年（第3回）1・2・3月	2,000	55	4	440,000		
	入会費（第3回）3年（第4回）1・2・3月	2,000	55	4	440,000		
合計		2,000	80	80	80,000	月会費	2,000
合計						1,664,000	2,000

支出	項目	単価	回数	人数	月	費用	合計
会費	会費（第1回）1年（第2回）5・6・7月	2,000	3	12	4	921,600	会費の年々増加に起因する 会費の増減
	会費（第2回）2年（第3回）5・6・7月	2,000	55	4	440,000		
	会費（第3回）3年（第4回）5・6・7月	2,000	55	4	440,000		
入会費	入会費（第1回）1年（第2回）1・2・3月	2,000	55	4	440,000	入会費の年々増加に起因する 入会費の増減	
	入会費（第2回）2年（第3回）1・2・3月	2,000	55	4	440,000		
	入会費（第3回）3年（第4回）1・2・3月	2,000	55	4	440,000		
合計		2,000	80	80	80,000	月会費	2,000
合計						1,664,000	2,000

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

取組の成果

- 現在、国費や市の自主財源を活用し、保険料も含め受益者負担は発生しない運営体制で取組を開始しているため、生徒・保護者の負担は抑えられている。
- 今後、持続可能な体制づくりを構築するためには、必要な経費を賄う受益者負担を求めることは避けることができないと感じている。
- 受益者負担等の収入と指導者謝金や事務局人件費等の費用による収支構造を検証し、受益者負担の金額設定等含め、将来的な枠組み等の検討を進める。

今後の課題と対応方針

- 持続可能な地域クラブ活動の運営体制を構築する上で、いつまで受益者負担なしで地域クラブ活動を展開していくのか、今後どのように受益者負担を発生させていくのか、受益者負担に対する保護者の理解は必要であり、大きな課題となる。また、経済的困窮世帯への参加費用負担支援等についても検討が必要となる。
- 参加者に負担を求める場合であっても、一定の人数の参加がなければ賄えないことになり、持続可能性に視点を置いた時にあやうい。持続的に活動することを前提とした仕組みを構築することが課題となる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等③

資料

小美玉市地域スポーツクラブ活動 収支構造試算書（案①）

収入

項目	単価	人数	月	費用
参加者会費（第1回集金）1年 ※4月は集金なし 5・6・7月	2,000	25	3	150,000
参加者会費（第1回集金）2年～3年 4・5・6・7月	2,000	55	4	440,000
参加者会費（第2回集金）1～2年 5・9・10・11月	2,000	55	4	440,000
参加者会費（第3回集金）1～2年 12・1・2・3月	2,000	55	4	440,000
入会費	2,000	80		160,000
スポーツ安全保険 年間掛金（生徒）	800	80		64,000
合計				1,694,000

令和6年度に実施した地域クラブ活動を参考に試算
1年生：25人
2年生：30人
3年生：25人

月会費 2,000円 とした場合
293,500円 が不足する

支出

項目	単価	時間	回数	月	クラブ数	費用
スポーツ活動費	指導者諸謝金	1,600	3	4	12	921,600
	指導者謝金（研修会）	5,000				45,000
	消耗品費					15,000
	小計					981,600
スポーツ活動費（保険料）	生徒	800	80			64,000
	指導者	1,850	14			25,900
	小計					89,900
事務局運営費	人件費（コーディネーター）	75,000			12	900,000
	事務用品					5,000
	雑役務費（振込手数料等）					11,000
	小計					916,000
合計						1,987,500

⇒ 自己負担

小美玉市地域スポーツクラブ活動 収支構造試算書（案②）

収入

項目	単価	人数	月	費用
参加者会費（第1回集金）1年 ※4月は集金なし 5・6・7月	2,400	25	3	180,000
参加者会費（第1回集金）2年～3年 4・5・6・7月	2,400	55	4	528,000
参加者会費（第2回集金）1～2年 5・9・10・11月	2,400	55	4	528,000
参加者会費（第3回集金）1～2年 12・1・2・3月	2,400	55	4	528,000
入会費	2,000	80		160,000
スポーツ安全保険 年間掛金（生徒）	800	80		64,000
合計				1,988,000

令和6年度に実施した地域クラブ活動を参考に試算
1年生：25人
2年生：30人
3年生：25人

月会費 2,400円 とした場合
500円 が残額となる

支出

項目	単価	時間	回数	月	クラブ数	費用
スポーツ活動費	指導者諸謝金	1,600	3	4	12	921,600
	指導者謝金（研修会）	5,000				45,000
	消耗品費					15,000
	小計					981,600
スポーツ活動費（保険料）	生徒	800	80			64,000
	指導者	1,850	14			25,900
	小計					89,900
事務局運営費	人件費（コーディネーター）	75,000			12	900,000
	事務用品					5,000
	雑役務費（振込手数料等）					11,000
	小計					916,000
合計						1,987,500

⇒ 自己負担

出典：小美玉市教育委員会スポーツ推進課

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

○4校のうち3校は、学校体育施設を中心に実証事業の活動が実施できるよう調整を行った。

○1校については、平日の部活動の活動場所が校舎内の体育室になるため、休日の地域クラブ活動は学区内にある社会体育施設で実証事業の活動が実施できるよう調整を行った。

取組の成果

○活動する場所大きく変えずに実施することで、参加者・保護者の負担を可能な限り軽減することができた。

○活動する場所が学校外になる地域クラブ活動は、学区内にある社会体育施設を利用することで、参加者・保護者の負担を軽減することができた。

○廃校の学校体育施設を利用し活動していた地域クラブ活動は、年度内に廃校施設が取り壊しとなったため、解体工事が始まる前に学校体育施設で地域クラブ活動が実施できるよう学校と調整を行い、活動場所を確保することができた。

今後の課題と対応方針

○現在、実証事業として学校体育施設を中心に地域クラブ活動を実施しているが、休日の全ての学校運動部活動を地域クラブ活動に移行するまでには、学校部活動ではない地域クラブ活動のために学校体育施設や

社会体育施設を使用する場合の優先利用を設けるか、使用料減免するかなど、要件や基準等について検討する必要がある。

2.実証内容と成果①

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

○令和5年度の12月から4校4部活動を対象に休日の運動部活動の地域移行への取組を開始し、令和6年度も4月から継続して、地域クラブ活動を実施することができた。

○地域クラブ活動に参加した生徒を対象としたアンケートを実施した結果、回答者の73%が「とても満足している、または満足している」と回答があったことは、一定の成果があったと感じている。

○地域クラブの指導者については、新たな指導者を確保し、すべての地域クラブ活動で2人以上の指導体制を構築することができた。

○事務局機能として総括コーディネーターを配置し、新入生の地域クラブ活動への加入手続き、参加者や保護者、学校、指導者との連絡調整等を円滑に行う運営体制づくりを構築することができた。

○休日の学校部活動の現状と今後についてお知らせするチラシを配布し、地域移行に向けた取組状況を児童や生徒、保護者、地域クラブ活動に関わっていない方々に対して、認知・周知を広げることができたことは大きな一歩と感じている。

●成果の評価

○4月から休日の地域クラブ活動を実施し、年間を通して取り組むことができた。

○アンケート調査を実施し、地域クラブ活動に参加している生徒及び指導者ニーズや、学校部活動の対象となる児童の意識の把握に努めた。

○全ての地域クラブ活動で、指導者2人以上の指導体制を構築した。

令和6年度 地域クラブ活動の実施状況

種 目	参加者 (生徒)	指導者		実施回数 (4月～2月)	1回あたりの 指導者数
		人数	主な属性		
男子卓球	15人	2人	個人（部活動指導員等）	27回	1人～2人
女子ソフトテニス	16人	2人	個人（外部指導者等）	26回	1人
剣道	4人	4人	小川少年剣友会	35回	1人
陸上競技	47人	6人	美野里クラブ	24回	1人～4人
計	82人	14人		112回	

●今後に向けて

○地域クラブ活動へ展開する部活動を増やす上で、指導者の確保が課題となることから教員の兼職兼業制度を構築するなど、地域で活動できる体制づくりが必要となる。

○地域クラブ活動を実施している剣道は、休日の活動を継続しつつ令和7年度から拠点校部活動に移行するため、参加者の移動手段等の検討は必要となる。

○既存の学校部活動の見直しを進める中で、地域クラブ活動を実施する部活動を増やすために、どのように地域移行へつなげていくか検討が必要となる。

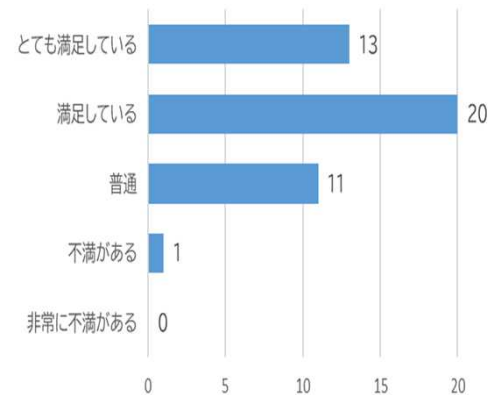
○地域クラブ活動を運営する上で必要となる経費に対する受益者負担の保護者の理解を、どのようにすすめるか検討が必要となる。

2.実証内容と成果②

アンケート結果・参加者の声

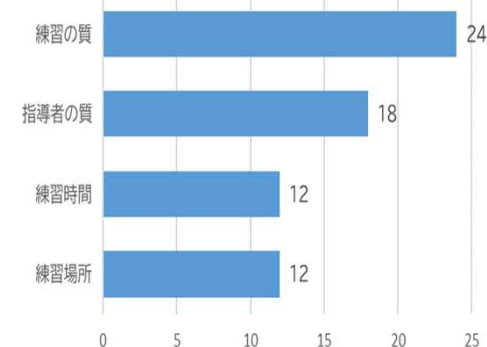
●アンケート結果

Q.活動の満足度？

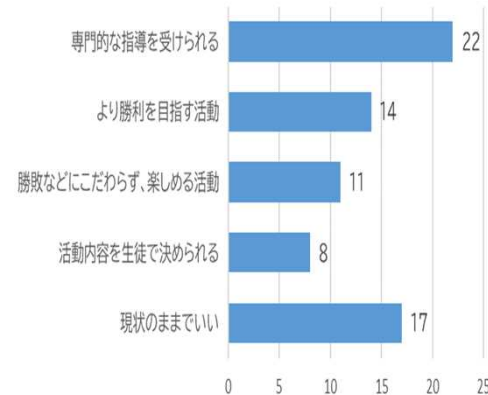


「とても満足している」「満足している」と回答した方にお聞きます。

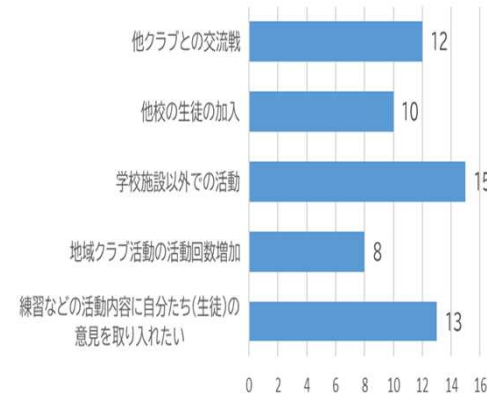
Q.どのような点に満足していますか？



Q.地域クラブ活動にはどのような指導や活動内容を求めていますか？



Q.今後さらにあったらいいと思うものを教えてください。 ※複数回答可



小美玉市地域クラブ活動実施状況に関するアンケート（実施期間：令和6年8月）の結果抜粋

●参加者の声

中学1年生（陸上競技）

専門の練習を増やしてほしい

中学1年生（女子ソフトテニス）

指導者の方が来てくれてとても詳しく教えてくれて嬉しい。
先輩がたくさんのことを教えてくれて嬉しい。

指導者（陸上競技）

まだまだ始まったばかりでわからない事ばかりです。
自分も勉強しながら子供たちと学んでいきたいと思います。

指導者（女子ソフトテニス）

活動時間の長さ：準備入れて3.5時間ほどかかる。
欠席の連絡が遅くなりがち。
指導者をもう少し増やしたい。

アンケート結果・広報資料

1. アンケート調査の概要

◆地域クラブ活動実施状況に関するアンケート

- ☐ 調査の目的 休日の部活動の地域クラブ活動の実施状況調査を行い、地域の実情に応じた多様な地域クラブ活動のモデルの構築等を進めていく上での参考資料とする。
- ☐ 調査期間 令和6年8月
- ☐ 調査対象 休日の地域クラブ活動（種目：男子卓球、女子ソフトテニス、剣道、陸上競技）
- ☐ 調査方法 紙アンケート
- ☐ 調査対象及び有効回答

対 象	対象数	回答数	回答率
地域クラブ活動の参加者（中学校1～2年生、義務教育学校後期課程7～8年生）	56	45	80.4%
地域クラブ活動の指導者	14	6	42.9%

◆中学部活動に関する事前アンケート

- ☐ 調査の目的 中学校、義務教育学校後期課程の休日部活動の地域移行及び部活動に関する意識調査を行い、今後の学校部活動の地域移行を進めていく上での参考資料とする。
- ☐ 調査期間 令和6年9月
- ☐ 調査対象 市内小学校（5校）、義務教育学校（2校）
- ☐ 調査方法 Webアンケート
- ☐ 調査対象及び有効回答

対 象	対象数	回答数	回答率
小学校6年生、義務教育学校前期課程6年生	364	325	89.3%

2.実証内容と成果③

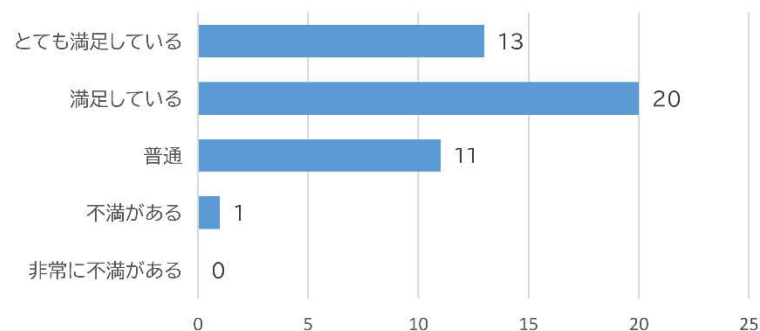
アンケート結果・広報資料

2. アンケート結果

令和6年度 地域クラブ活動実施状況に関するアンケート結果 対象:地域クラブ活動の参加者【R6.8月実施】

①活動の満足度

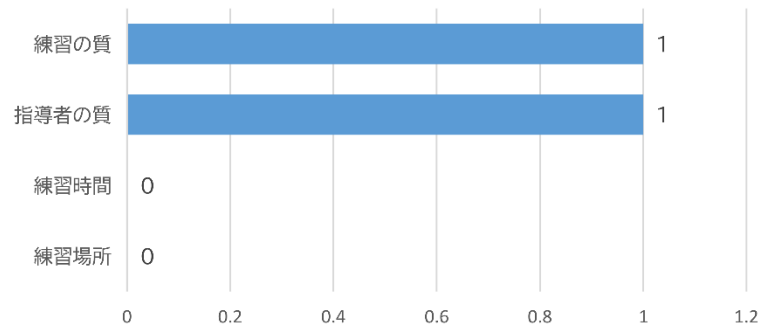
45人の回答



「不満がある」「非常に不満がある」と回答した方にお聞きします。

③どのような点に不満を持っていますか ※複数回答可

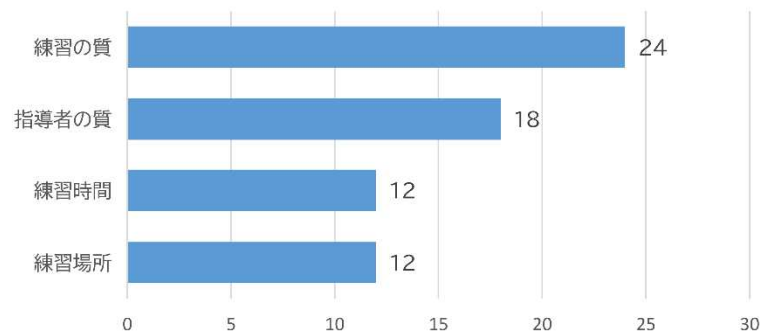
1人の回答



「とても満足している」「満足している」と回答した方にお聞きします。

②どのような点に満足していますか? ※複数回答可

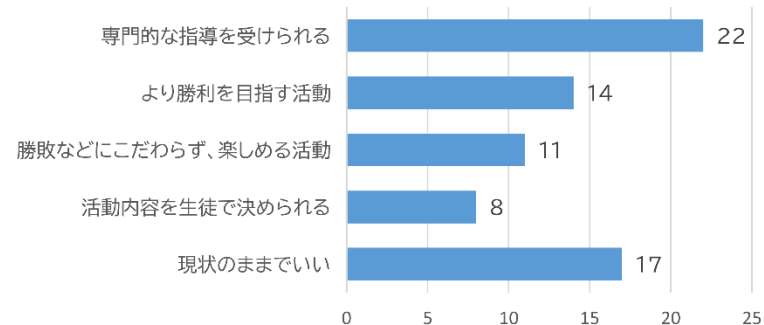
33人の回答



④地域クラブ活動にはどのような指導や活動内容を求めていますか?

※複数回答可

43人の回答



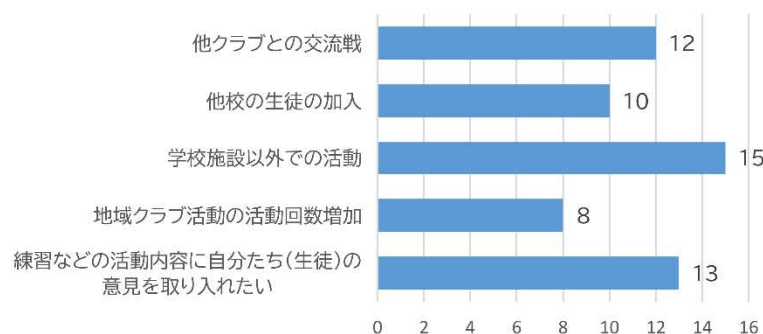
出典:小美玉市教育委員会スポーツ推進課

アンケート結果・広報資料

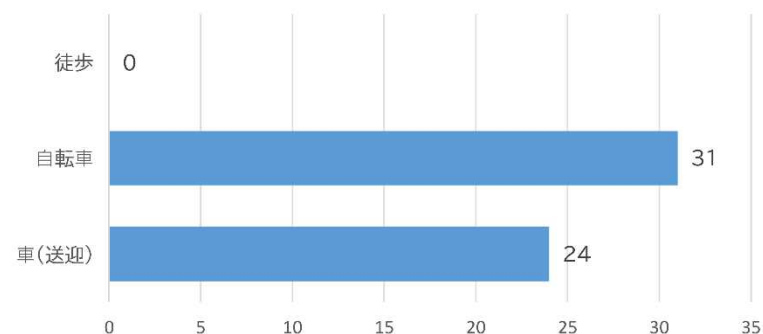
2. アンケート結果

令和6年度 地域クラブ活動実施状況に関するアンケート結果 対象:地域クラブ活動の参加者【R6.8月実施】

⑤今後さらにあったらいいと思うものを教えてください ※複数回答可
42人の回答



⑥地域クラブ活動に何で通っていますか？
44人の回答



⑦その他、ご意見ご要望ご感想などお聞かせください
4人の回答

- ・もう少し涼しくなるようにしてほしい(練習会場・時間)
- ・専門の練習を増やしてほしい
- ・もう少しだけ練習時間を増やしてほしい
- ・指導者の方が来てくれてとても詳しく教えてくれて嬉しい。
先輩がたくさんのことを教えてくれて嬉しい。

出典:小美玉市教育委員会スポーツ推進課

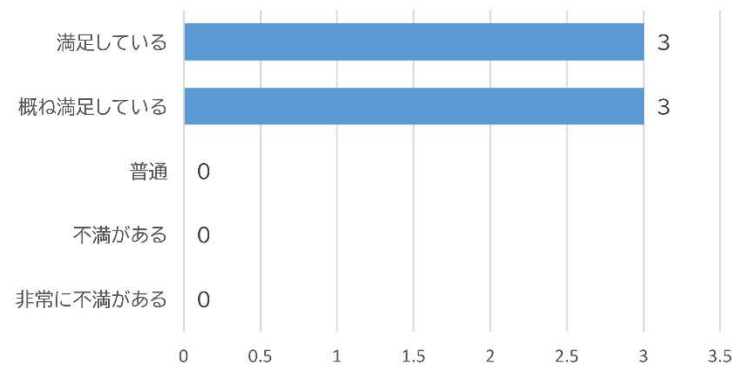
2.実証内容と成果③

アンケート結果・広報資料

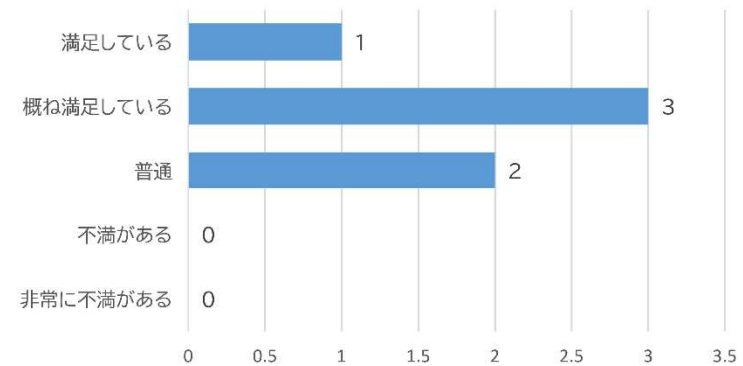
2. アンケート結果

令和6年度 地域クラブ活動実施状況に関するアンケート結果 対象:地域クラブ活動の指導者【R6.8月実施】

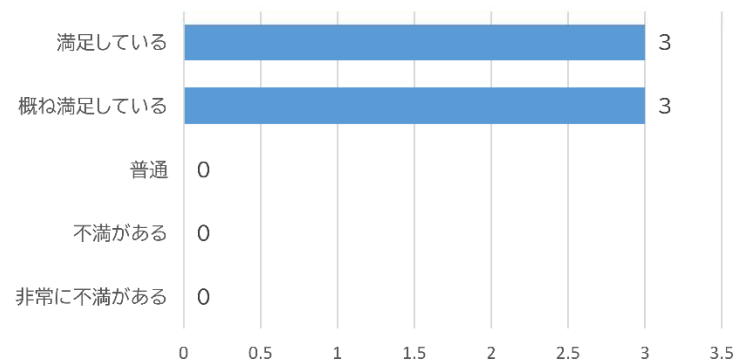
①活動について
6人の回答



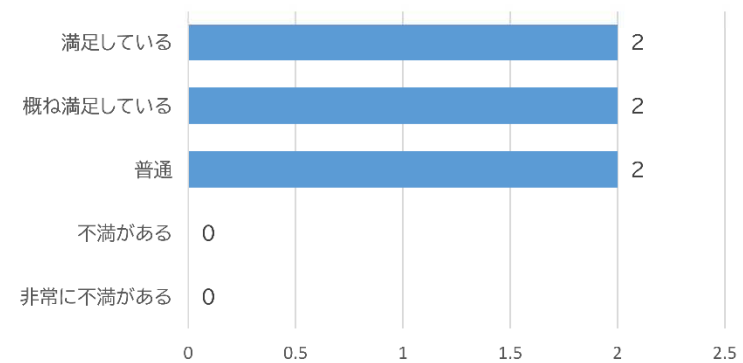
②活動頻度について
6人の回答



③活動時間の長さについて
6人の回答



④連絡体制について
6人の回答



出典:小美玉市教育委員会スポーツ推進課

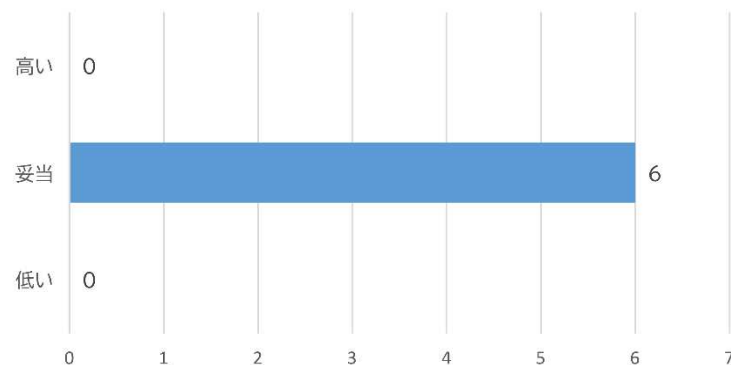
2.実証内容と成果③

アンケート結果・広報資料

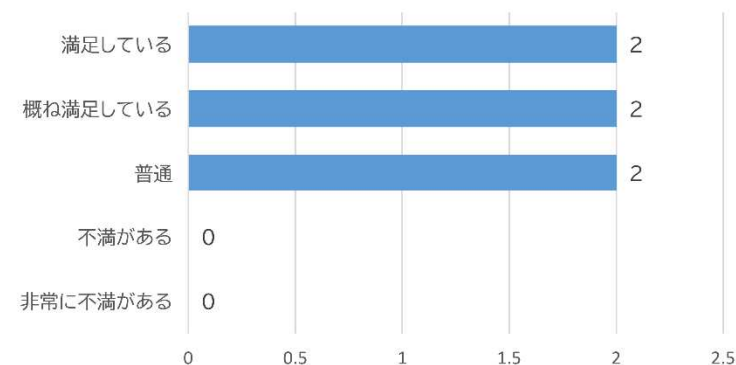
2. アンケート結果

令和6年度 地域クラブ活動実施状況に関するアンケート結果__対象:地域クラブ活動の指導者【R6.8月実施】

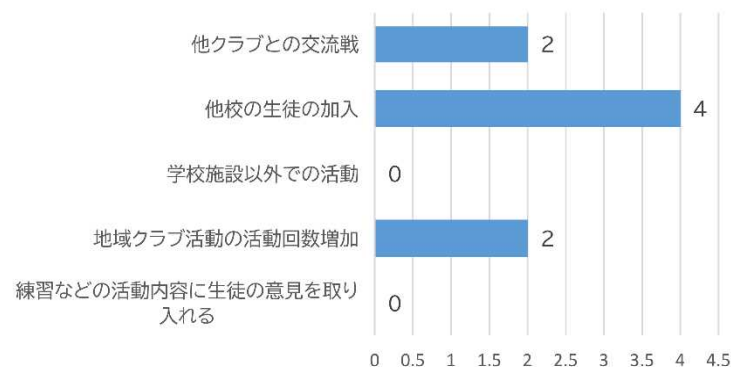
⑤謝金額について
6人の回答



⑥会場の備品について
6人の回答



⑦今後さらにあったらいいと思うものを教えてください ※複数回答可
6人の回答



⑦その他、ご意見ご要望ご感想などお聞かせください
3人の回答

- ・まだまだ始まったばかりでわからない事ばかりです。
自分も勉強しながら子供たちと学んでいきたいと思ひます。
- ・理想の活動回数:週2~3回
- ・活動時間の長さ:準備入れて3.5時間ほどかかる。
欠席の連絡が遅くなりがち。
指導者をもう少し増やしたい。

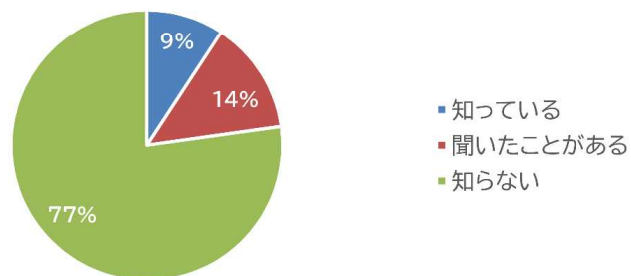
出典:小美玉市教育委員会スポーツ推進課

アンケート結果・広報資料

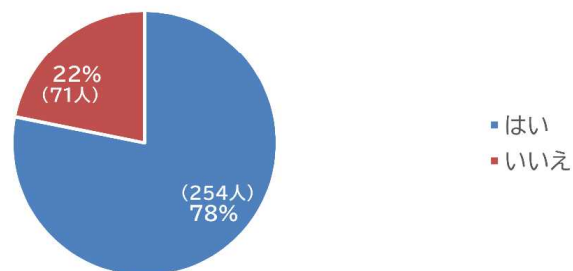
2. アンケート結果

令和6年度小学校6年生対象 中学部活動に関する事前アンケート【R6.9月実施】

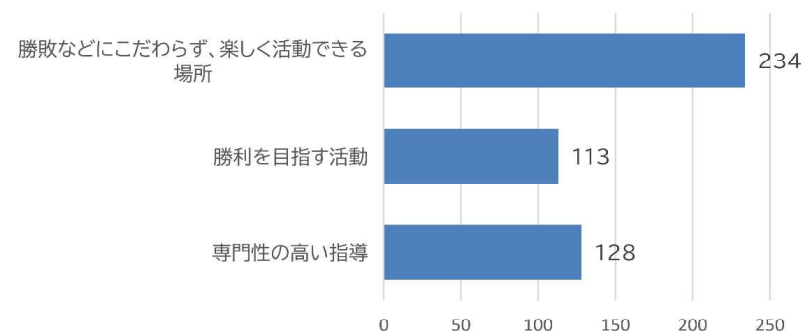
- ①現在スポーツ庁および文化庁が主導となって部活動を地域(民間)へ移行する動きが広まっているのを知っていますか？
325人の回答



- ③現在、中学校または義務教育学校後期課程で部活動への入部を考えていますか？
325人の回答

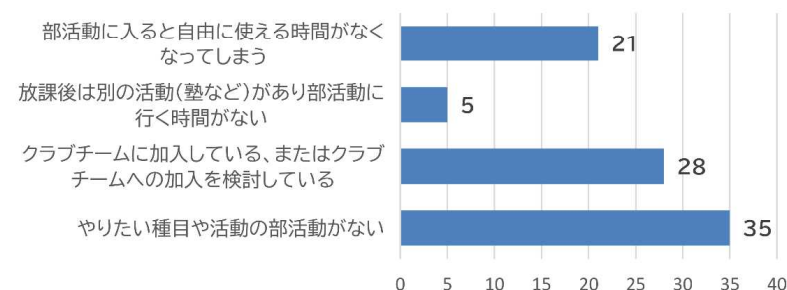


- ②部活動が地域(民間)へと移行した場合、移行した先の活動や指導者には何を求めていますか？ ※複数回答可
325人の回答



- 「現在、中学校または義務教育学校後期課程で部活動への入部を考えていますか？」で『いいえ』と答えた方

- ④部活動に入らない理由をお聞かせください ※複数回答可
71人の回答



出典:小美玉市教育委員会スポーツ推進課

スポーツ庁

25

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【地域クラブ活動：玉里学園義務教育学校 男子卓球】



【地域クラブ活動：小川北義務教育学校 女子ソフトテニス】



【地域クラブ活動：小川南中学校 剣道】



【地域クラブ活動：美野里中学校 陸上競技】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年

検討委員会
設置、
検討開始

令和5年

運営団体の
選定、
対象部活動や
指導者の選定

学校現場や
指導者との
調整

生徒、保護者へ
の説明

地域クラブ活動
の開始

令和6年

地域クラブ活動
の継続、拡大

●ステークホルダー

市長部局、市教委、学校、
NPO法人 小美玉スポーツクラブ

●経過

務局機能を果たす団体として、
総合型地域スポーツクラブの
NPO法人小美玉スポーツクラブと
連携していく方針を示した。

●実施にあたって生じた課題

具体的に、どのように地域移行を
進めていくのか見通しが立たず、
方向性が定まらなかった。

●実施内容、工夫した点 等

行政、学校、NPO法人 小美玉
スポーツクラブで、検討委員会を
開催した。

●ステークホルダー

市長部局、市教委、学校、
NPO法人 小美玉スポーツクラブ、競技団体等

●経過

運営団体として、NPO法人 小美玉スポーツクラブに
業務委託した。（総括コーディネーターの配置）
3年生の部活動引退後に、各校1部活動を対象に
休日の地域クラブ活動へ移行する取組を開始した。

●実施にあたって生じた課題

地域クラブ活動を運営する上で必要となる費用負担
の保護者の理解、指導者の確保等が課題となる。

●実施内容、工夫した点 等

各学校とヒアリングを実施し、外部指導者や部活動
指導員が指導を担当している部活動を選定した。
地域移行する・しない部活動で不公平感が生じない
よう、受益者負担は発生しない運営体制で実施した。

●ステークホルダー

市教委、学校、
NPO法人 小美玉スポーツクラブ、競技団体等

●経過

4月から休日の地域クラブ活動を実施したことで、
1～3年生の全学年を対象に取組を開始した。

●実施にあたって生じた課題

拠点校部活動の種目は、指導者と調整を進
めたが、地域クラブ活動へ展開ができなかった。

●実施内容、工夫した点 等

休日の学校部活動に関するチラシを配布し、
保護者や地域クラブ活動に関わっていない方々
にも、認知・周知することができた。
地域クラブ活動の指導者と意見交換を進め、
令和7年度から拠点校部活動に移行し、他の
学校からも生徒が参加できるかたちを整えた。

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

小美玉市 部活動改革スケジュール（案）

	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)	2025年度 (R7年度)	2026年度 (R8年度)	2027年度 (R9年度)
小美玉市教育委員会 教育指導課	平日の運動部活動は現状どおり継続し、令和 8 年度までの休日部活動を見直す				目指す姿 ○生徒にとって望ましい持続可能な活動環境を整備 ○地域の実態や生徒のニーズに合わせた、多様な文化・スポーツ環境の構築
	休日部活動の地域展開 準備期間 休日の部活動は、段階的に地域へ展開 ○部活動運営方針の改訂 ○教員・保護者への周知 ○教員の兼職兼業の制度設計、地域で活動できる体制づくり ○中体連大会に参加する地域クラブ活動の参加資格の調整等				
小美玉市教育委員会 スポーツ推進課	休日部活動の完全地域展開を目指した地域クラブ活動の運営体制づくりを支援				
	卓球、ソフトテニス、剣道、陸上競技				
	バレーボール				
NPO法人 小美玉スポーツクラブ	地域クラブ活動の拡大				
	休日の部活動の地域クラブ化を促進、新たな課題への対応等				
	モデルケースの実証				
	新たなモデルケースの実証				
	既存事業の安定化を図る（指導者の確保、運営体制の整備等）				
・単独事業化した際の費用負担（受益者負担）の試算、検証 ・モデルケース（地域クラブ活動）拡大の検討、試算					